

平成28年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	亥鼻公園集会所
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	本施設は、千葉市発祥の地として設置された歴史公園内にあり、本市や日本の歴史・風土への理解を深める文化活動の場として機能するとともに、周辺エリアの活性化や市内観光の振興に寄与する。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化、コミュニティ活動等の場を幅広く提供すること。 ・市内の観光拠点の一つとして広く周知を図り、周辺公共施設等と連携し、亥鼻山への来場者が憩える場を提供すること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらう効果を見込んでいます。
成果指標※	① 施設利用者数
数値目標※	① 2,600人/年 以上
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	株式会社塚原緑地研究所
構成団体 (共同事業体の場合)	
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市美浜区真砂三丁目3番7号
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年)
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率※
施設利用者数	2,600人/年 以上	3,013人	115.9%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H28年度実績
選定時は未設定	
選定時は未設定	

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	8,591	8,608	実績－計画	0
	計画	8,591	8,608	計画－提案	0
	提案	8,591	8,369		
利用料金収入	実績	634	737	実績－計画	74
	計画	560	494	計画－提案	0
	提案	560	300		
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0
	計画	0	0	計画－提案	0
	提案	0	0		
合計	実績	9,225	9,345	実績－計画	74
	計画	9,151	9,102	計画－提案	0
	提案	9,151	8,669		

イ 支出

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	4,855	6,153	実績－計画	△ 414	新任研修等の費用が発生しなかったため
	計画	5,269	6,516	計画－提案	0	
	提案	5,269	6,698			
事務費	実績	3,312	2,087	実績－計画	50	更衣室のロッカー等の消耗品にかかる支出が増えたため
	計画	3,262	1,931	計画－提案	0	
	提案	3,262	1,408			
管理費	実績	584	526	実績－計画	△ 16	修繕等の予算の不要があったため
	計画	600	606	計画－提案	0	
	提案	600	515			
委託費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他事業費	実績	42	0	実績－計画	22	
	計画	20	49	計画－提案	0	
	提案	20	48			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	8,793	8,766	実績－計画	△ 358	
	計画	9,151	9,102	計画－提案	0	
	提案	9,151	8,669			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】 H27年度
自主事業収入	実績	7,490	7,692
その他収入	実績	0	0
合計	実績	7,490	7,692

イ 支出

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】 H27年度
人件費	実績	2,582	2,119
事務費	実績	82	124
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	278	380
事業費	実績	4,713	4,935
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	7,655	7,558

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H28年度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	9,225	9,345
	支出合計	8,793	8,766
	収支	432	579
自主事業	収入合計	7,490	7,692
	支出合計	7,655	7,558
	収支	△165	134
総収入		16,715	17,037
総支出		16,448	16,324
収支		267	713
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	B	115.9%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案額と同額

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	計画、提案どおりの運営業務を実施
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
	(1) 人的組織体制の充実	C	C	計画、提案どおりの運営業務を実施
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務	C	C	利用者アンケート等においても清掃、備品等において良い評価を得ている。
	施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
	(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	近隣他施設（郷土博物館等）と連携した活動（いのはな山秋祭り等）を実施しており利用促進にもつながっている。
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免 利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実	B	C	計画、提案どおりの運営業務を実施
	利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施	B	C	収入は若干下がっているものの、おおむね計画・提案どおりの運営業務を実施
	施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	計画、提案どおりの運営業務を実施
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			
	大規模災害時の対応			
	特別提案			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
	平成○年度	
	平成○年度	

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	<p><集会所利用者アンケート> (調査方法) 集会所利用者とその都度用紙を配布し、回収 (回答者数・調査対象) 155人・いのはな亭集会所の利用者 (質問項目) 利用人数、住まい、利用目的、施設(備品)状況、清掃状況、売店の品揃え、従業員の対応、自由記載欄</p>
	回答者数	<p><庭園文化講座アンケート(自主事業)> (調査方法) 講座参加者に資料とともに配布し、終了時に回収 (回答者数・調査対象) 72人・庭園文化講座の参加者 (質問項目) 性別、住まい、文化講座を知ったきっかけ、講座への参加状況、当日の講座について</p>
	質問項目	
結果	<p><集会所利用者アンケート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数については、5名以下が83%と大半を占めていた。 ・使用者の住まいは、千葉県外が60%、次いで千葉県内が25%、市内は15%と、利用者の多くが千葉県外にお住まいの方である。 ・利用目的については、写真撮影が88%を占め、その他茶会、会合等の用途で利用されている。 ・施設(備品)、清掃、従業員の対応の状況については、「満足」「ほぼ満足」の項目で97%を占めており、良好な評価を得ている。 ・売店の品揃えについてもおおむね良好な評価を得ている。 ・自由記載欄(一部抜粋) 「亥鼻公園専用の駐車場を設置してほしい。」 「売店のお団子等がおいしかった。」 「撮影会でお茶道具を借りられるところは貴重なので、ぜひ続けていただきたい。」 「庭、室内も手入れが行きとどいていて、とてもきれいでした。」 「ゴミ箱、ティッシュがあるとありがたい。」 「撮影で貸出してくださる施設が減っていく中で、以前と変わらず貸し出して下さるのでとてもありがたいです。」 <p><庭園文化講座アンケート(自主事業)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者は、女性が71%を占め、参加者の年齢は、60歳から80歳の参加者が約67%を占めている。 ・参加者の住まいは、市内が約85%を占めており、集会所の利用者とは違う傾向が出ている。 ・講座への参加状況は、「はじめて」の参加者がもっとも多く約半数、次いで「2~4回目」の参加者が多くなっている。 ・当日の講座の状況については、おおむね好評を得ている。 	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所の利用率、利用人数は、ともに目標値を超えました。 ・満足度調査において、全ての項目において「満足」「ほぼ満足」が90%をこえました。特に職員の対応については、100%でした。 ・自主事業の庭園文化講座では、香道をはじめ様々なテーマの講座を開催しました。また、近隣施設と連携しいのはな山秋祭りを開催しました。いのはな山懇談会を開催し、防災などの情報を共有しました。 ・パークマネジメント契約により、管理範囲以外である庭園の草刈り、清掃や低木の剪定を積極的に実施しました。
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<p>指定管理業務においては、施設利用者数が前年度、成果指標を上回っており、評価できる。またアンケート調査においても、従業員の対応、清掃や備品等について好評を得ており、良好な管理運営がなされているものと評価できる。</p> <p>自主事業においては、茶店の新メニューの追加や質の向上等が収入の増加につながっていると認められる。また、庭園文化講座の実施、JR東日本主催の「駅からハイキング」への協力等運営面について評価することができる。</p> <p>以上のことから、良好な管理運営を実施していると評価する。</p>
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

ア 指定管理者による自己評価、市による評価のとおり良好な管理運営が行われていると認められる。今後も継続して、さらに市民にとってのより良い施設となるよう管理運営を行っていただきたい。

イ アンケートにより得られた意見・苦情等のうち、ごみ箱の設置等簡易的に対応できるものについては、市民ニーズに応えられるよう積極的に対応を検討されたい。

ウ 専用の駐車場がないことに関し、周辺施設との連携や、極力公共交通機関を利用して来所するよう案内するなど、指定管理者だけでなく、市も協力して検討をお願いしたい。

エ 事業計画書では、モニタリングの仕組みの1つとして、外部委員から構成される「指定管理者事業評価委員会」が評価を行うこととしているが、事業報告書では、当該委員会に代わるものとして社内研修会を実施している。外部評価と研修会では性格が異なるものであり、事業計画を変更して事業を実施する際には、計画策定時の位置づけを明確にした上で、実施されたい。